

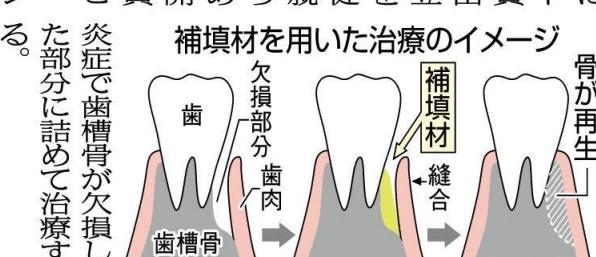
実用化へベンチャー

21年度めどに市場投入

・プルランを利用した新素材で、歯周病で傷ついた歯槽骨の治療などで活用を見込む。産学連携で開発を進め、2021年度をめどに市場投入する計画。

ダイヤ工業、岡山大、北海道大が設立

ベンチャー企業は「メディカルクラフトン」。ダイヤ工業が資本金1千万円を全額出資し、今月1日に設立した。同社内に本社を置き、社長には松尾健哉・取締役本部長が就いた。臨床試験を行うためのスパンセンター集めや、実用化後の販路開拓などに当たる。役員は4人、従業員数はこれから固める。補填材は、プルラン



要なことからベンチャーフィー設立を決めた。北海道大は実用化に向けて研究開発を続け、岡山大は特許といつた知財管理などを担う。人工歯根を埋め込

り、市場投入から3年後には歯科分野で6億5千万円の売り上げを目指す。ダイヤ工業は1963年設立。資本金1千

00万円(15年3月期見込み)。従業員10人(パート含む)。

(伊東圭一)

んだ骨の炎症を抑えるコートティング材としての製品化も検討している。

ズーム プルランの天然多糖類。水に溶けやすく、粘りを出したり膜状になりする性質を持つことから、食品添加物や厚生労働省から医薬品原料として使用が認められた。

医療用品メーカーのダイヤ工業(岡山市南区古新田)と岡山大、北海道大は8日、骨の再生を促す補填材の実用化を目指すベンチャー企業を設立したと発表した。人体に無害な天然多糖類

とリソウムを化合させて粘着力を強め、骨の成分となるカルシウムを加えたペースト状。骨の損傷部分に詰めるところ、カルシウムが骨の再生を促すとともに、異物として体内に溶けない。歯周病では、試験で多額の資金が必

炎症で歯槽骨が欠損した部分に詰めて治療する。

吉田靖弘・北海道大学院歯学研究科教授が岡山大大学院の准教授だった12年、ダイヤ

工業と共に開発に着手。動物実験で良好な結果を得られたとい

う。国から製造販売の承認を得るための臨床